

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 【新】災害対策等資機材整備

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警備部警備第二課 電話番号：058-271-2424(内5761)

地域部地域課 電話番号：058-271-2424(内3571)

刑事部捜査第一課 電話番号：058-271-2424(内4111)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,466 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,466	0	0	0	0	0	0	0	9,466
決定額	9,466	0	0	0	0	0	0	0	9,466

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「令和6年能登半島地震」発生以後、岐阜県警察災害派遣隊の各部隊が石川県へと出動し各種活動する中で、道路の寸断・隆起・倒壊等により、車両での走行が不可能となり、災害救助活動においては、必要最小限の装備資機材を携行しての移動が求められる。そのため、運べる量は限られ、より性能の高い装備資機材でなければ、救出救助が困難な状況であった。

当県も同様の大規模災害時には、土砂崩れ等による道路寸断の影響を受け、孤立化する集落があるほか、旧来の家屋が並ぶ地域も多数あり、家屋倒壊の危険性が高いことから、今後発生が危惧される南海トラフ地震等に備え、改めて整備が必要な資機材や、より機能的な資機材等の整備が必要不可欠となっている。

(2) 事業内容

- ・災害救助活動に必要な装備資機材等の整備
- ・装備資機材を使用するための講習費用
- ・感染症対策による収納袋の増強

(3) 県負担・補助率の考え方

県内での災害救助活動に関する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	1,203	収納袋、パワーカッター用消耗品、担架用頭部固定器具、車両移動器具、チェーンソー講習用テキスト
備品購入費	7,845	ヘリ輸送用小型ネット、充電式パワーカッター、充電式チェーンソー、ストレッチャーなど
負担金	418	チェーンソー講習負担金
合計	9,466	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2) 安らかに暮らせる地域

⑥災害と危機事案に強い岐阜県づくり

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 突発的な大規模災害の発生時において、迅速・的確な救助活動が行えるよう、災害現場での救助活動に有効な装備資機材の整備を計画的に実施し、体制の維持強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

災害発生時の救助・救出活動を迅速・的確に行うために必要な資機材の整備や維持に要する事業であり、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % 令和7年度当初予算にて追加
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

災害現場で有効な装備資機材の整備と維持を行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

災害現場における迅速・的確な部隊活動による人命の救助は、最優先されるべきものであり、活動に必要となる装備資機材の整備、維持管理、人材育成を継続して推進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など

【〇〇課】